

TAGARAから世界へ! TAGARAから未来へ!

令和3年5月10日 令和3年度 第2号 発行責任者 東京都立田柄高等学校長 加藤竜吾

令和3年度 第41回入学式 (式辞要旨)



令和3年4月7日(水)、令和3年度の本校第41回入学式を挙行了しました。

当日は、天候にも恵まれ、暖かい入学式日となり、第41期生の新入生168名が元気に入学しました。本校の特色の一つに国際理解教育があります。在京枠の入学者選抜制度もあり、第十期生の入学である平成二年度からコース制を導入しています。当時は、外国文化コース・日本文化コース・理数コースを設置し、得意な方面に秀でた力を発揮できるような教育活動を展開してきました。その後、いくつかの変遷があり、この日入学した新入生で30年余り続いてきた普通科外国文化コースは、最後の入学生となります。本校では、様々な経験を有する生徒たちが、文化の違いを乗り越えて、理解し合えるよう、1年次のカリキュラムは、普通科と普通科外国文化コースは、同一のカリキュラムとしており、グローバル化が進展する現代社会にあって、外国籍生徒も日本人生徒とともに切磋琢磨して学びあえる環境づくりをしています。次年度から始まる高等学校の新教育課程の中でも、これまで培った教育を中核としながら展開し、これらを基盤とした新たなステージを目指していく計画です。

入学式では、本校の教育目標の一つである「主体的かつ積極的に学び、高い希望の実現に努力する生徒を育てる」ことについてお話をしました。

一点目は、高校生活では、何事にも自ら積極的に取り組み、調和のとれた人間性を育てて過ごすことです。皆さんは義務教育を終え、自らの意思で本校に入学しました。もしかしたら、本校を希望していなかった人もいるかもしれませんが、気持ちを一新して目標を定め、多くの新しい友にも出会い、仲間と共に切磋琢磨しながら、調和のとれた人間に成長いくことが求められます。そのためには、何事にも自ら努力し、積極的に取り組んでいくことに繋がります。

二点目は、自らの意志で入学した本校で高い目標に向かって挑んでいくことです。

コロナ禍の昨年、本校でも必修カリキュラムとしている「日本の伝統・文化」の一つである将棋界は、にわかに活気づきました。それは、最年少棋士 藤井聡太(ふじいそうた)7段が、昨年7月が渡辺明棋聖、棋王、王将から第91期棋聖戦で八大タイトルの一つ棋聖位を奪取しました。藤井7段にとっての初タイトルです。これは、屋敷伸之(やしきのぶゆき)九段が持つタイトル獲得の最年少記録(18歳6ヶ月)を30年ぶりに塗り替える17歳11ヶ月での達成でした。藤井棋聖・王位が鍛え上げてきた棋風は、その背景にコンピュータがあるということです。将棋のコンピュータと人間の対決で、人間が敗れることが起こり、人工知能やAIの発展が、将来の人間生活を脅かすのではないかとまで言われています。藤井棋聖・王位が初タイトルを取った昨年、次のようなことを述べています。

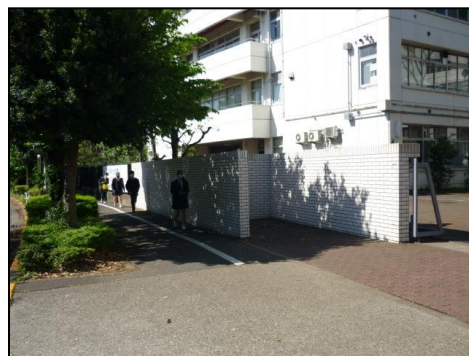
「将棋を指すために生まれて来たかどうかは分かりませんが、将棋に巡り合えたのは運命だったのかなと思いますし、将棋を突きつめていくこと、強くなることが使命……使命までいくか分かりませんが、自分のすべきことだと思います」そのうえで、目指すべき目標を定め、高校を退学してまでも高い目標に向かって進んでいます。

これこそが、自らの考えで何事にもひたむきに努力していく姿勢ではないでしょうか?将棋に出会ったことが「運命」と述べている藤井棋聖・王位の3歳年下の新入生の皆さん。田柄高校に出会ったことを「運命」と思いませんか?皆さんは田柄高校への入学を果たしましたが、本校への入学が目的ではなく、高校生活のスタート地点に過ぎません。本校では、感染症対策を最優先として行いながら、分かりやすく工夫された授業展開、日本語指導や校内寺子屋を初めとした補強のための学習、和太鼓や茶道など様々な日本文化を学ぶ「日本の伝統・文化」体育祭や文化祭などの学校行事、部活動、教科「人間と社会」などを通して、「人と関わる力」を身につけて、様々、工夫された教育方法で三年間取り組んでいくことを強く期待しています。



TGR点描（マナーとルール①）

田柄高校の新学期が始まって1ヶ月が過ぎました。毎朝、登校時間に合わせて正門前に立っていますが、登校してくる生徒たちの様子を見てみると大変人懐っこい生徒たちが多い学校であると感じています。田柄高校の教育目標では、規律ある学校生活の中で確かな学力を身に付けることが求められています。そこで、規範意識について登校してくる場面を通して、良い部分と改善を求める部分がありますので、そのことについて述べてみます。



登校してくる生徒たちの良い部分を挙げてみると、

- 1 ほとんどの生徒はしっかりと朝の挨拶ができています（近所の皆さんも挨拶をしてくれます）。
- 2 歩道を走行する自転車登校の生徒たちは車道よりを走ってくる（基本の車道走行です）。
- 3 正門に入る段階で自転車が下りて入ること（歩行者もいます）。
- 4 車道の左側を自転車で走行していること（交通ルールではこれが基本です）。
- 5 雨の日はレインコートで自転車登校していること（このルールは現在必須です）。

これだけでもしっかり守られていれば良いのですが、次のような課題のある部分も少なくありません。

- 1 始業時間ギリギリに勢いよく駆け込んでくる生徒が一部いること。
- 2 自転車で歩道を勢いよく走行して歩行者を邪魔して生徒が一部いること。
- 3 自転車で二人乗り走行をしている生徒が一部いること（道路交通法違反）。
- 4 歩行でも自転車でもイヤホンをしたまま登校している生徒が一部いること（道路交通法違反）。
- 5 赤塚方面から自転車で逆走をしてくる生徒が一部いること。
- 6 雨の日に自転車の傘さし運転をしている生徒が一部いること（道路交通法違反）。
- 7 田柄高校生が通ってはいけない光が丘団地内を通過している生徒が一部いること。
- 8 マスクをしていない、或いは、あごマスクのまま登校している生徒が一部いること。



ほとんどの生徒たちは、しっかりとルールを守って登校をしています。ちなみに、私が以前勤めていた高校では、自転車の傘さし運転は皆無でした。地域の方々から見られている場面は、登校している生徒を見ることが多いと思います。小・中学生も見えています。一部の心無い生徒のために、「田柄高校生は～」のようなことにならないように、日々、マナーとルールをしっかり守って生活してほしいと思います。

緊急事態宣言に伴う本校の対応とお願い

令和3年度が開始されると同時に、新型コロナウイルス感染症の「まん延防止等重点措置」が始まり、4月25日からは、三度目となる緊急事態宣言となりました。教育活動も本格化する中での人の流れを止める策であり、都立学校もそれに伴う対応をしております。

都立学校では基本的に、三分の二の登校による分散登校の形を取りますので、期間中は本校でも、ある学年について自宅学習とする日となります。学校行事はすべて中止となり、部活動についても高体連主催の大会以外の部活動は中止となります。

また、自宅学習の日はオンラインによる学習が基本となります。本校でも整備を進めておりますが、本校に在籍している生徒の家庭環境は様々であるため、昨年度まではオンラインによる学習は十分な用意ができないままでした。

都立学校では、Teamsによるオンライン学習、課題配信・回収、各種調査等を進めていくことになりました。4月28日（水）に全校生徒にIDを配布しています。今後は、スマホやPCを通じた学習や連絡が増えていきます。可能な限り受信できる環境をご家庭でも整えていただけますよう、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。